

大和市おひとりさま支援条例への市民意見公募の結果について

○市民意見公募実施期間：令和4年4月1日（金）～令和4年5月2日（月）

○意見提出者数 5名

○意見件数 10件

○寄せられたご意見と市の考え

ご意見	市の考え
<p>おひとりさま支援条例、大賛成です。関連する著書を何冊か読みました。その本にも、終活の大切さが沢山書かれておりました。死亡してからのことも大切ですが、老後でのひとり暮らしの不安さ、心配などを解消するためにはどうすれば良いのかも書かれていました。</p> <p>その本には、日頃から近所のひとり暮らしをしている人たち同士が顔見知りになり、声をかけ合い、「雨戸が開いていない」、「新聞がたまっている」など、そのようなちょっとしたことをお互いに気にかけてお声かけをしてみるなど、そのくらいのことでとても安心できると書いてありました。やはり遠くの親戚や身内より、近くの他人のほうが、何かの時には絶対大切な存在になると確信しております。それと、私自身も子供が居ないので、亡くなってからの事もどうすれば良いのか、とても不安を持っています。</p> <p>身内には頼みたくないと思っておりますので、死後のことを引き受けてくれる NPO に頼んだほうが良いかな、とも思いましたが、その NPO や会社がなくなってしまうと、払い込んだお金も無駄になりますので、市のほうで、おひとりさま支援を進めてくださるのでしたら、本当にありがたいですし、ぜひ</p>	<p>「人生100年時代」の到来が現実味を帯びる中、高齢での一人暮らしならではの不安を軽減し、安心して健やかに暮らすことのできる社会が必要とされています。</p> <p>年齢を重ねるうちに、ひとりぼっちで頼れる人がなく、人間関係を喪失することで、社会との関係が希薄になるようなことも少なくありませんが、それぞれが無理のない範囲で外出し、人や社会とのつながりを持ち続け、「つながり」を心がけていくことが心身の健康にとっても大切なことです。</p> <p>「健康都市やまと」を掲げる本市においては、「一人になってもひとりぼっちにさせない」を行政、市民、事業者が一体となって目指して行く姿勢を本市として明確に示すことで、ひとり暮らしの高齢の方々の安心につながるものと考えています。</p> <p>条例化によって、高齢のひとり暮らしは誰にでも起こり得ることであるという認識を社会全体で共有し、困っている方が声を上げやすい環境、困っている方に支援の手を差し伸べやすい環境を構築し、誰もが安心して生活できる社会を実現して参りたいと考えています。</p> <p>なお、市では、おひとりさま支援のひと</p>

<p>利用したいと思っております。</p> <p>本に、終活が終わると気持ちが安心するのか、とても元気にイキイキと趣味のことに没頭でき、多くの人が不思議と元気になると記載がありました。老後を不安の中で生きていたくありません。</p>	<p>つとして葬儀・納骨などの「終活支援」を実施しています。市民の皆様の終活に関する疑問や不安に、専門のコンシェルジュが丁寧にアドバイスし、内容に応じて専門家につなぐなどのサポートも行っていますのでお問い合わせください。</p>
<p>なぜ「おひとりさま」がダメなのか分からない。今の時代、繋がりを作ろうと思えばいくらでも機会はあるのだから、それでもなお一人である人に干渉するのは御節介なのではないだろうか。本人はそれで良いのである。余計なしがらみから自由になり、各人のペースで生きている。良いことではないか。ひとりぼっちである事を「かわいそう」とみなし、救済と支援の対象とするのはエゴ他ならない。</p> <p>以上より、高齢者のおひとりさま対策にそもそも意味を感じない。孤独でいたい人にはそっとしてあげたら良いのではないだろうか。</p>	<p>少子化、長寿化、離婚、死別、未婚率の上昇など、近年の社会構造の変化により、高齢のひとり暮らしは増加しており、また、誰もが高齢のひとり暮らしになる可能性があります。本市は、高齢化率でみると全国平均よりも低いものの、65歳以上を含む高齢者世帯におけるひとり暮らし世帯の割合では、全国よりも高い状況にあります。</p> <p>高齢の方々の孤立に伴う健康への影響については、国内外の研究においても、冠動脈疾患や脳卒中、認知症などのさまざまな悪影響が報告されているところであり、「健康都市やまと」を掲げる本市では、このような状況は看過できないものと考えています。</p>
<p>行政が「おひとりさま」にケアする意味が分からない。なぜ数ある社会問題の中でこれに着手しようと考えたのか。おひとりさまをケアするとモラルハザードが起きて、高齢者の一人暮らしが加速すると予測する。となると、むしろケアを削減して、個々人が危機感を持つことこそが孤立化を防ぐと思う。</p> <p>そもそもお金があるから孤立できるのだ。お金がなければ誰かと一緒に住もうと考えるだろうし、チャリティーを活用すればお金がなくても生きていける。そういった繋がりを自主的に絶っているのだから彼らはそれ</p>	<p>一方で、ご指摘のような、自らの希望により一人で居り、他者とのつながりを必要としていない方の意思は最大限に尊重すべきであると考えておりますので、条例でも、「おひとりさま」を「一人暮らしの市民であって、年齢を重ねたことにより<u>他者との関りを必要とするもの</u>」と定義して、社会とのつながりを望んでいる方を支援の対象としているところです。</p> <p>他者とのつながりを必要としながら、ご自身の意思とは異なり、孤立を強いられている高齢の方々に対しては「かわいそう」</p>

なりに裕福なのである。

そういった人を税金を投入してケアするよりも、雇用を与えて共同寮に入れるとかの方が本人のためだ。自立できるし、自尊心も保てるし、税金は使わずに済む。「おひとりさま」対策は個人の工夫とビジネスの範囲で解決すべきである。

その分の税金は是非若い人向けに使って頂きたい。結婚・妊娠・出産・育児...あとは公教育にお金を使ってほしい。ここを充実させれば若い人が集まる。若い人が集まれば高齢者も支えられる。少子化対策こそが最強の高齢社会対策なのだ。

高齢者の一人暮らしやひとりぼっちが悪いことだとは思わない。今の時代は人と交流する機会に溢れている。そんな中で本人が好きで孤立して自由気ままに楽しんでいるのだからそれはそれで良いと思う。行政が介入する問題ではない。

そもそもひとりぼっちの何が問題なのだろうか？孤独死が問題なのだろうか？

結婚していても老後が安心とは限らないし、死ぬ時はみんな一人である。それより貯金と1人でできる趣味を持つ方が大切だと思う。ひとりぼっち、良いじゃないか。要は年寄りの引きこもりを無くし、外出させれば良いのだ。年寄りにマッチングアプリをやらせれば良いのだ。年寄りも恋愛したら良い。恋愛までいかずとも推し活でも人生にハリが出るのではないだろうか。人間に必要なのはロマンスである。年齢は関係ない。

趣旨文を読む限り、この条例は高齢者の一

といった周囲からのスティグマは除去しなければならない課題であり、そのためにも、「おひとりさま」は誰にでも起こり得ることであるという意識を社会全体で醸造して行くことが大切であると考えています。

周知啓発の手法につきましては、本条例が大和市民を対象とするものであることから、市民が目にしやすい「広報やまと」等を活用しながら、併せて、市民向けのサロンや講演、講座、イベントなどを開催するなどして、条例が効果的なものとなるよう努めて参ります。

<p>人暮らしを対象としているが、「おひとりさま」現象は年齢の高低とあまり関係がない。若い人も繋がりたくても繋がれない瞬間はある。例えば、他市から引っ越してきた時。仕事の関係で新天地に引っ越してきたものの、出会いがなくて職場と家を往復する日々...「俺ってなんのために生きてるの!？」というのは意外にあるあるではないだろうか。</p> <p>そんな時には新しい趣味を初めてみたり、マッチングアプリを利用してみたり、なんだったら自分がイベントオーガナイザーになってみたり、色々やりようはある。こういう民間的な機会創出を促進させたら良いのではなかろうか。駅前に超デカイ広告出してみるとか。</p> <p>高齢者優遇ではなく、若い人向けの出会い促進も考えても良いと思う。というか、むしろ若い人向けを重点化すべきではないだろうか。「出会いと恋の街、大和」。良いじゃないですか。</p>	
<p>おひとりさま支援条例</p> <p>今迄私は医者知らず薬知らずで私の「じまん」でした 「大和市まほろば愛好会」のメンバーになり ボランティアに参加しました 毎年風鈴まつりに参加したり新潟中越地震後 まほろば愛好会のメンバーとボーイスカウトの子供達先生方の車に分散し柏崎小学校に行きました</p> <p>両側を見ると家つぶれたり こわれたり ニュースで見るより怖くなみだがとまりませんでした 柏崎小学校はほとんどこわれていませんでした 安心しました 私達は校庭で焼きそば ホットドックを作り 柏崎の皆様「オモテナシ」をして 夜は又皆</p>	<p>条例化によって、困っている方が安心して生活できる社会を実現して参りたいと考えています。つながりを必要としているものの、孤立しているおひとりさまに対しては、外出や社会交流しやすい環境を構築して参ります。</p>

んなど花火を楽しく遊びました 夜行日帰りで大和に帰ったときは朝でした 風鈴まつりのメンバーと旅行したり他楽しく過ごしました

「シリウス」では健康都市大学に通いいろいろな勉強をしたりしました 大和市長 学長のお話をお聞きすることになったが にくいコロナ禍のせいで中止になり修了証書は送ってきました 残念です コロナ禍がなくなり 学長のお話が聞けることと楽しみにしております お待ちしています

骨子案を拝読致しました。支援を必要とする方々の多くは人生の終盤です。身体は衰えつつありますが、周囲の人との関りの中で人間らしく過ごすことは本来誰も望むものです。少しでもそこに近づくよう私たちは知恵を出し合って、現実在即した実効ある制度を作らなければなりません。書かれている社会的背景、基本的理念や施策は尤もなことで、より高度な福祉社会の実現の為に宜しくお願い致します。

さて、今回示された骨子案、基本的な考え方、条例案の概要について多くのパブリックコメントは肯定だろうと思います。しかし現場では役所間の連絡の不備や、独居の高齢者に直接接する個々の方の対応により時にデリケートな問題となり、思わぬ結果を招く事にもなりかねません。おひとりさまとの初期接触は誰がどのように行ない、支援の要不要の判断、支援計画策定など、具体的な指針が現場に示されることが重要だと思います。意見は以上です。

高齢者の健康にとって、外出促進や社会との様々なつながりが重要であると言われていています。孤立に至る背景や当事者が置かれる状況は多岐にわたり、その感じ方や捉え方は人によって多様ですが、条例化により、おひとりさまの役割を明確にすることで、おひとりさま自身の行動を促すとともに、「ひとりぼっちが悪いこと」という差別や偏見を払しょくし、声を上げやすい環境を構築することにつながるものと考えています。

今回の条例では具体的な施策等は記載いたしません。市の責務、市民、事業者等の役割を明確にすることで、おひとりさまを社会全体で支えて行くという機運を醸造することは、今まさに支援を必要としている人のみならず、今は支援の対象とならない方に対しても認知と安心感を与えることができるものと考えています。

(仮称)大和市おひとりさま支援条例の制定案を非常に興味深く拝見しました。

「2040年時点で65歳に達した方の、男性の約4割が90歳まで、女性の2割が100歳まで生存すると推計されてい」るなど、初めて聞く内容も多く、たいへん勉強になりました。(正直、自分に当てはめて考えると、長生きしすぎたくはないものですね。)

当条例は、これからまさに単身世帯が激増するという課題に対して、「一人になってもひとりぼっちにさせないまち」を行政、市民、事業者が一体となって目指していくという市の姿勢や対応策を明記したすばらしい条例だと思います。全国的に見ても、先進的で超高齢化社会への対策として先駆けた条例と言えるのではないのでしょうか。

また、財政上の措置ということで、「市は、おひとりさま支援に関する施策を推進するために必要な財政上の措置を講ずるよう努めるもの」とする点は、単なる概念的な条例に留まらないことを明確にし、とてもいい点だと思います。ぜひ、この条例に基づき、各施策を進めていただきたいと思います。

以下は、細かい点ですが、修正したほうがいいと思う点になりますので、修正を御検討ください。

1 「大和市おひとりさま支援条例の骨子案について(PDFファイル:388.8KB)」を拝見しましたが、条例案を引用しているからだと思いますが、他の箇所は、ます体で表記されているのに、である体になっているところが何か所かあります。大和市行政文書の作成に関する規程第4条に基づき、表現をます体にそろえたほうがいいと思います。(以下【】内

高齢のひとり暮らしが増加する中で、孤立は誰にでも起こり得るものであるという認識のもと、社会全体で支える意識の醸造が重要であると考えています。

文書の結び等につきまして、ご指摘いただき、ありがとうございます。条例化にあたっては、頂戴しました意見も参考にしながら進めて参ります。

が該当箇所)

【(3) 定義

この条例において、次の用語を定義しています。

(1) おひとりさま 一人暮らしの市民であって、年齢を重ねたことにより他者や社会との関わりを必要とするものをいう。

(2) 市民 市内に居住する者をいう。

(3) 事業者等 市内において事業活動を行う者及びおひとりさまの支援に関わる機関又は団体をいう。

(5) 責務と役割

1 市の責務

・基本理念にのっとり、おひとりさま支援に関する施策を総合的に実施しなければならない。

2 おひとりさまの役割

・他者や社会とのつながりが、心身の健康にとって重要であることを認識し、自身に無理のない範囲でつながりを持つよう、心がけるものとする。

3 市民の役割

・市民は、誰もがおひとりさまになりうることを認識し、日ごろから他者や社会とのつながりを意識的に持ち続けるとともに、おひとりさまとの適切なつながりについて配慮するよう、心がけるものとする。

4 事業者等の役割

・事業者等は、基本理念にのっとり、おひとりさまとの適切なつながりについて配慮するよう努めるとともに、市が実施するおひとりさま支援に関する施策に協力するよう努める

ものとする。】

2 同じく「大和市おひとりさま支援条例の骨子案について」を拝見しましたが、(5) 責

<p>務と役割の1から4「・」の後の1行目と2行目以降がそろっていないので、そろえたほうが良いと思います。</p> <p>3 意見募集のホームページの「【寄せられた意見とそれに対する市の考え方について】」に、「なお、個々のご意見に直接回答は致しませんので、ご了承ください。」とありますが、他の箇所は、ます体で表記されているのに、「致しませんので」と謙譲語の表記になっていますので、「しませんので」と修正したほうが良いと思います。また、謙譲語のままにするにしても、意味的に「致す」ではなく「いたす」と平仮名表記のほうが望ましいと思います。</p>	
--	--

その他のご意見

ご意見（概要）	市の考え
<p>マスクの着用、日本のコロナ対策に対するご意見。</p>	<p>今回の市民意見公募は、大和市市民参加推進条例に基づき「大和市おひとりさま支援条例」の骨子案についての意見を募集するものですので、条例の骨子案に直接関係のないご意見等につきましては、関係する部署等にお問い合わせいただきますようお願いいたします。</p>
<p>自身の地域の町内会 防犯パトロール老人クラブ等に関するご意見</p>	